

おがやしき

鋸谷式間伐講習会を開催しました

日 時： 令和5年8月23日（水）10：30～15：00

場 所： 香川県森林センター 実習室、ヒノキ林

参加者： 森林組合職員7名、森林所有者5名、県林業職員7名 計19名

主 催： 香川県森林センター

「鋸谷式間伐」とは、講師にお招きした福井県の鋸谷茂さん（森と木の研究所 代表）が提唱する、間伐手遅れ林を健全な植生の人工林に改良する間伐技術のことです。強度間伐の密度管理を適正に行うことで作業の効率化と省力化が実現でき、良質な木材の生産と森林の公益的機能の発揮が期待できます。

今回の講習会は、鋸谷式間伐を学ぶことで人工林密度管理の知識を深め、技術を磨くことを目的に開催しました。「自然界の基準に従う」意識をもって施業に取り組むことや、「林業はやり方次第で儲かる」実例のお話が、特に参加者の心をつかんだようです。

終了後に「とても学びが多かった。参加して良かった。」と感想をいただきました。



① はじめに講師から、鋸谷式間伐の概要について説明がありました。



② 見学は平均胸高直径25cmのヒノキ林で行いました。



③ 密度管理竿を使った現地調査の実演と説明の様子です。



④ 間伐する木の選び方について説明を受けています。



⑤ 途中から雨が強まりましたが質問がとぎれません。



⑥ 座学のテーマは「健全な人工林の造成」です。

（香川県森林センター 林業普及指導員）